



関する法改正が行われました。年金徴収者対象者の年収額の拡大と共に、後期高齢者の介護保険や、高齢者医療保険料の負担額が、年金等の収入に応じて1割から2割に増加することが決められました。これにより令和5年度には、年金額の改正が行われます。他にも我々高齢者に負担が増えろ内容が含まれています。

JAM神奈川シニアは、JAMシニア、神奈川シニア連合と共に、政策制度要



学習会は、37ページの学習資料が提供され、プロジェクトにて講義内容を説明されるなど本格的なものとなりました。

工場見学、ボウリング、ブルフと各地区役員が知恵をしぼつた多彩なものとなりました。本来20周年の年は2022年でしたが、新型コロナ感染対策のため1年繰り延べて行ないました。

①5月26日(金)『北部地域』

渋沢栄一の故郷探訪と旧由島邸見学9名参加し、旧由島邸は国の重要文化財に指定されている史跡です。1万平方メートルの敷地に建てられている近代和風の建屋に見学者は圧倒されまー

求をまとめ自治体や  
改善を要求しています。今  
回の年金改正点を学習し、  
より良い年金にするために、  
政策制度要求をしていきま  
す。

埼玉  
2周年を祝し地壇ご  
に記念行事を開催

小泉茂事務局長

記念行事を開催

囲碁・将棋・麻雀用具、和室、カウンターを備えたバーなどがあり、終業後に組合員の皆さんのがクラブ活動などに利用されています。

す。

A black and white photograph showing a man in a white t-shirt and glasses standing in a supermarket aisle. He is holding a large, round object, possibly a ball or a large fruit, in front of him. In the background, there are shelves stocked with various products and other people shopping.

川越地域》ゴルフ大会12名参加し、夏の太陽が照り付けるコンペションでしたが、風が吹きつける芝生は爽やかで気持ちの良い交流会ができました。

成績は二の次として今後の交流等につながる有意義な一日を過ごすことができました。

時とは比較にならない変貌を目にした参加者は驚きを隠せませんでした。

③ 6月27日火 『東部・南部地域』ボウリング大会

た。渡沢栄一は来年7月に新1万円札の顔としてデビューする予定です。

②6月6日(火)『中部地城』ボッシュ工場見学15名参加し、製造現場でインター  
メントを取材して生産工程

臣宛の団体署名活動の実施を決定しました。

J A M シニアクラブは7月20日の第3回幹事会で署名活動への全面的な協力を確認しています。署名は各地方シニアクラブ単位での団体署名です。秋の臨時国会で、通常国会で決定した改正マイナンバー法を修正させるために、団体署名の取組みを契機として、健康保険証廃止撤回の声を地域の中に広げていきましょう。

JAMミニアクラブが加盟する日本退職者連合は、この事態を深刻に受け止め、7月19日に開催された定期総会で「健保証廃止」撤回の緊急決議を行うとともに、厚生労働大臣、デジタル大臣宛の団体署名活動の実施を決定しました。

る政府の手法に批判が高まっています。加えて、窓口で無効と判断され医療費の10割請求された事例や、他人の医療情報がカードに紐づけられたケースが7300件も判明するなどマイナ保険証をめぐる深刻なトラブルが顕在化しています。

2024年秋より何らかの  
不都合なく使えてる健  
康保険証を廃止してマイ  
一卡通の取得を強制

## 退職者連合 健康保険証廃止の撤回を求める署名活動を展開

### (固体異名の趣意書)

2024年秋に予定される健康保険証廃止の撤回を求める

本年6月2日の参議院本会議で改正マイナンバー法が成立し、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだマイナ保険証の普及のため、2024年秋に現行の健康保険証を廃止することが決まりました。

マイナンバーカードを巡ってはコンビニで別人の住民票が交付されたり、給付金の受取口座が別人の口座で登録されるなどのトラブルが後を絶ちません。とりわけマイナ保険証に関しては、窓口で無効と判断されて医療費の10割が請求された事例や、他人の情報がカードに紐づけられていたケースが7300件余りも判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼす恐れのある深刻な問題が顕在化しています。こうした事態を受け、医療関係団体などは現行保険証の廃止に反対しており、被保険者や医療現場からも懸念の声が上がるなど、国民皆保険制度の根幹が揺らごうとしています。

政府は、トラブルの後追いで拙速的な総点検を指示する一方、暗証番号を必要としないマイナンバーカードの発行や、マイナ保険証を持たない人に発行される資格確認書を申請がなくても交付できるプッシュ型にするなどの弥縫策を打ち出しています。しかし、いま必要とされることは、現行保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた昨年段階の原点に立ち返り、何ら不都合なく使っている保険証を廃止してマイナ保険証の取得を強制するかのような手法を抜本的に見直すことです

上記の観点から以下の項目について、速やかに実施されるよう請願いたします。

七

- マイナンバーカードと一体化されたマイナ保険証の取得は、申請による任意の判断のみに基づくとの原則を明確にすること。
  - 改正マイナンバー法に規定された 現行健康保険証を2024年秋に廃止するとの措置を撤回すること